

台風前線：大規模自然イベントを 象徴とする時空間インタラクション

Typhoon Front: Spatio-Temporal Interaction under Symbolic Large-Scale Natural Events

国立情報学研究所・総合研究大学院大学 北本 朝展

1. 目的

台風や地震などの大規模自然イベントの発生により、情報へのニーズは爆発的に増大する。そんなとき、人々の間で発生するコミュニケーションをどのように支援できるだろうか？

「今度の台風はすごい！」「心配ですがそちらは大丈夫ですか？」

大規模自然イベントには、多数の人々が同一イベントを同時に体験するという意味で、強力なコンテキスト生成力がある。そのような場で発信される情報を集約し、時空間パターンを可視化し、共有する。

3. 今後の課題

トラックバックとケータイメールだけでは、敷居が高いという問題と、人々の間のインタラクションが起きにくいという問題がある。そこで、短文投稿等の方法を用いることで、よりインタラクションが活性化しやすい（かつ荒れにくい）場を作り出していきたい。またユーザーからの反応などを集めることで、システムの評価もしていきたいと考えている。

2. 結果と評価

🌀 ブログ参加者数 270
総エントリー数 949
2004年6月開始

🌀 ケータイ参加者数 18
総エントリー数 26
2007年9月開始

- 🌀 台風発生時に発信されるエントリーが意外と多い。その後はしばらく静穏。
- 🌀 自分の住んでいる場所に接近する予報が気象庁から出ると、接近への備えに関する情報発信が活発になる。
- 🌀 台風通過中は周囲の状況を個人的な感情もこめて発信するものが多い。中には緊迫感が伝わるものもある。
- 🌀 台風通過後は、被害状況の報告や、マスメディア報道との対比に関する考察などが届く。
- 🌀 うち一次情報は4割弱。

トラックバック 655件の分類	
発生時	
159件 (24%)	
接近前	
138件 (21%)	
通過中	
160件 (24%)	
通過後	
51件 (8%)	
一般的话题	
147件 (22%)	
うち一次情報	
245件 (38%)	